



外科 栗原 聡元 医師のご紹介

栗原先生のことを教えてください！



医師を志したきっかけは？

大学を卒業し就職をする時に何か物足りなさを感じていました。何をしたいのか改めて考えたら、人間の体のことをもっと知りたいと思い、解剖に興味を湧いたことがきっかけで医学部に入り直しました。

当院の印象・外科のやりがいは？

スタッフが協力的でフレンドリーで働きやすいと感じています。主に肛門疾患を専門にしてやってきてましたが、結果がすぐにわかること、その結果次第では患者様に喜んでもらえるので、治療の成果が早くわかりやすい点でやりがいを感じます。

ご趣味はありますか？

趣味は音楽鑑賞です。あとはドライブ、映画鑑賞、たまに料理もします。得意料理はサザエのエスカルゴ風、ピザ作りです。



外科での得意分野は

一般的な痔疾患に加えて、3大痔疾患と言われる「痔核」、「痔瘻」、「裂肛」の1番ひどくなくなってしまった「肛門狭窄」を得意としています。

医師として大事にしている事

手術をする患者さんを自分の家族のように思って親身になってやることです。自分の家族だったらこうするだろうと、そういう風にするのが理想的かなと思っています。

【外科診療体制表】

月曜	火曜	水曜		木曜		金曜	土曜
午前	午前	午前	午後	午前	午後	午前	午前
竹山	長谷部	栗原	久保田(乳腺) 受付15:30まで	竹山	栗原 (肛門専門)	長谷部	長谷部 第1・5週
	久保田(乳腺)					日野(乳腺)	栗原 第3週

先生の専門の「痔」について教えてください！

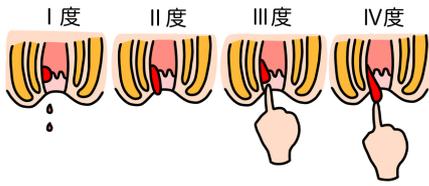
痔核の治療法について

原則的には3つの治療法があります。①切り取る②縛る③注射による硬化療法で痔を小さくして硬めるの3つです。

症状とグレードによっては切らない選択をする場合もありますが、切り取った場合は再発率が1%に満たないため、切り取るのが確実です。

縛る・硬化療法は1日から2日程度の入院のため体への負担は少ないです。もちろん個人差はあるものの、硬化療法での再発率は30%~50%といわれます。手術であれば入院期間は1週間程度です。

【脱出度によるGoligher(ゴリガー)の臨床病期分類】



I度	排便時にうっ血し、肛門内で膨隆する。
II度	排便時に内痔核が脱出するが、排便後に自然還納する。
III度	脱出を納めるのに用手的還納を要する。
IV度	痔核が大きく外痔核まで一塊化しているため完全には還納できない。

Goligher(ゴリガー)分類はI度からIV度にむけて徐々に程度は悪化し、その程度により治療方法が選択されます。

肛門狭窄について

「慢性裂肛」というほうがイメージしやすいと思います。肛門は便が漏れないように締まっている状態です。広がるのは直径2~3cm程度といわれています。それよりも太い便やかたい便を出そうとすると肛門が裂けてしまいます。一般的にいう外傷ですね。

肛門とは特殊な筋肉で、伸び縮みする輪ゴムを想像してみてください。便秘等で肛門が裂けることが繰り返し起きなければ伸縮自在のゴムに戻ります。反対に、裂ける回数が増えたり、繰り返されたりすると治癒能力が低くなり、切れた部分を起点に段々と狭くなり固い硬質ゴムようになってしまいます。そうすると今まで親指ぐらいの太さの便が出ていたものが、小指ほどの太さの便しか出せなくなり、これが肛門狭窄の症状になります。排便の際に肛門に痛みがあって、ペーパーに血がついているということがあれば、それは肛門狭窄の症状であるかもしれません。ちなみに、肛門狭窄の痛みは、割れたガラスが肛門を通過する際の痛みとアメリカの論文では表現されています。

肛門狭窄の治療法について

肛門狭窄形成術で、狭くなった肛門を広げる手術をします。慢性で硬くなった瘢痕組織の一部を切除して肛門形成を行います。いままでより少し狭いぐらいの大きさを目安にするのがポイントです。

木曜日の午後に開設した肛門専門外来について

一般外科では肛門疾患については専門病院を紹介するケースが多いのですが、当院ではその点は心配ありません。

具体的には、肛門の痛み、腫れ、出血しているという症状がある方はご相談ください。

症状で多いのは、いわゆる「いぼ痔」で、脱出といって、痔が出っ張る人です。あとは、お尻が痛いときです。これは大体「痔ろう」とか「裂肛」であることが多いです。

肛門の出っ張り、痔ろう、化膿(炎症を起こして膿が出ている状態)等の症状があればぜひご紹介ください。